

# 【洗面・トイレまわり】洗面化粧ユニット

①鏡や扉にガタツキがないかチェック

②コンセントや電源プラグ(差込)のにおいや変色などチェック

③洗面ボウル・カウンターにひび割れや欠けがないかチェック

④水漏れがないかチェック

# 大便器・温水洗浄便座

温水洗浄便座

⑦製品から水漏れしていないかチェック

温水洗浄便座

⑥便座のひび割れなどをチェック

温水洗浄便座

⑧便座が異常に熱くないか、冷たくないかチェック

温水洗浄便座

⑥ゴム脚の外れや便座のガタツキがないかチェック

大便器

⑤水漏れがないかチェック

# 換気扇

換気扇

⑨ファン(はね)の回転が不規則だったり、異常な音や振動がないかチェック  
 焦げ臭いにおいがしないかチェック

チェック欄には、不具合の兆候がない場合は√点を兆候がある場合は×を記入してください。



洗面・トイレ回りは、水を使用する場所ということもあり、水漏れの事故が多発しやすい場所です。また、最近は温水洗浄便座などの普及から、電気関係の事故も多く見られます。下記リストの項目をまずはチェックして、重大なトラブルを未然に防ぎましょう。※チェック時には安全にも配慮してください。

	重大事故につながる点検項目	アイコン	チェック	想定される事故や不具合、一時対応など
洗面化粧ユニット	① 鏡や扉にガタツキがある		<input type="checkbox"/>	落下してケガをする メーカー・販売店に相談する
	② ドライヤーなど使用中に、コンセントより焦げ臭いにおいがする、電源プラグが変色している		<input type="checkbox"/>	接触不良による発熱・発火の恐れがある 異常があれば使用を中止する
	③ 洗面ボウル・カウンターにひび割れや欠けがある		<input type="checkbox"/>	亀裂や割れた部分に触れてケガをする。水漏れする 触って確認せず、メーカー・販売店に相談する
	④ 水栓(本体やホース部)、洗面器裏、給水・給湯接続部、排水金具、電気温水器(※)より水漏れがある(※電気温水器が収納されている場合)		<input type="checkbox"/>	収納品を取出し、引き出しを外すなどして、水漏れがあれば、メーカー・販売店に相談する
大便器	⑤ 給水接続部や便器と床の間、便器とタンクの間などから水漏れがある		<input type="checkbox"/>	便器の後ろ側に水がたまっていることもある 乾いた布で拭き確認する
温水洗浄便座	⑥ 便座にひびや割れがある ゴム脚の外れ、便座にガタツキがある		<input type="checkbox"/>	便座や便座コード、本体から発火する恐れがある
	⑦ 製品から水漏れしている		<input type="checkbox"/>	放置せず、電源プラグを抜き、止水栓を閉めてメーカー・販売店に相談する
	⑧ 便座が異常に熱いときや、冷たいときがある		<input type="checkbox"/>	
換気扇	⑨ ファンの回転が不規則だったり、異常な音、振動がある。焦げくさいにおいがする		<input type="checkbox"/>	モーター故障の兆候で、発煙・発火の恐れがある 異常に気がついたら使用を中止し、メーカー・販売店に相談する

機種(品番)により部品の有無・形状が異なります。詳細は取扱説明書をご参照又はメーカーにお問い合わせください。

アイコン説明 そのまま放置することで、発火の恐れがある状態を意味します。 そのまま放置することで、漏水の拡大により家財を傷める恐れがある状態を意味します。 そのまま放置することで、ケガや事故の恐れがある状態を意味します。 そのまま放置することで、漏電する恐れがある状態を意味します。

〈ご使用開始年〉

洗面化粧ユニット 年

大便器 年

温水洗浄便座 年

換気扇 年

〈メモ欄(メーカー名、点検年月日など)〉

主に重大事故につながる恐れが多い事例を掲載しています。このほかの詳しい点検項目は、リビングアメニティ協会『自主点検表』をご覧ください。